

Z 会東大進学教室 【体験授業用教材 (抜粋版)】

---

## 東大世界史特講



はじめに

※必ず読んでください。

本科Ⅱ期の主要な学習のテーマは 19世紀～第二次世界大戦までの近現代史です。

### \*テキスト構成\*

◎学校で未習の時代について授業を受ける場合は、あまりにも知らない用語がありすぎると、途中で嫌気がさしますから、教科書や参考書でざっとその時代の概略をつかんでおくといいでしょう。

◎基本問題のうち、東大の問題は必ず授業の前までに解いておいてください(どのタイミングで取り組むべきかは、講師の指示にしたがってください)。その他の大学の問題は、授業前までに解けなくてもかまいませんが、授業後に復習用で使うなど、必ず解くようにしてください。もちろん、すべて解答できるように、とはいいません。これらの問題を解いてみようとする中でより多くの歴史用語を頭の中に入れてもらおうという狙いです。解答はつけてありますが、疑問点は質問してください。これらの問題を解くにあたっては、あらかじめ教科書などを読んで学習してから「解く」ようにしてください。教科書をみながら答えを「探す」のはやめましょう。

◎次に例題が載せてあります。授業の前までに解いておきましょう。例題の参考解答はテキストの最後に載せてありますが、指示があるまでは読まないようにしてください。

◎巻末に演習問題が載せてありますが、こちらも指示があるまで解かないでください。(読むことも原則禁止)

### \*授業構成\*

講義(歴史知識の教授)に関する時間が相当に少なくなります。テキストの内容を見てもらえればわかるように、例題をどのように解いていくのかという実戦形式での訓練がかなりの時間を占めます。最低限度の講義はありますが、世界史をゼロから教えてもらおうとは思わないでください。勉強は自分でやるものです。

### \*補足\*

授業に際しては、世界史の学習にあたって必要な、と思われるものは全て持ってきてください。最低でも学校で使用している教科書、図表は必ず持参してもらいたいと思っています。最後に授業には遅刻をしないでください(やむを得ない場合は、事前に連絡をしてください)。一人で授業を受けているのではないのだから、そういう当たり前のルールは守るように。

# 第1部 第一次世界大戦までの欧米

---

---

## 基本問題1

次の文章は、19世紀における植民地独立の歴史について述べたものである。文中の空欄（A）～（L）に最も適切な語句を記入しなさい。

ラテンアメリカにおけるフランス領の（A）では、フランス革命の影響で黒人奴隷が反乱をおこし、独立運動の指導者（B）は「黒いジャコバン」とよばれた。ナポレオン軍の干渉があったものの、それを撃退して独立し、世界最初の黒人共和国となった。

（C）は、ベネズエラの独立運動を指導し、大コロンビアやボリビアなどを独立させた。また、（D）は、アルゼンチン、チリ、ペルーの独立を指導した。メキシコも、1821年に独立を達成した。

一方、（E）は、ポルトガル王子が1822年に皇帝に即位して独立帝国となったのち、1889年に共和国となった。

ところで、ほとんどのラテンアメリカ植民地における独立運動の中心となったのは（F）と呼ばれる植民地生まれの白人であった。このほかラテンアメリカの住民には、先住民であるインディオ、先住民と白人との混血である（G）、白人と黒人との混血である（H）、アフリカ生まれの黒人などの階層があった。

ウィーン会議を主宰したオーストリアの政治家（I）は、これらの独立運動に干渉しようとしたが、合衆国大統領（J）は、ヨーロッパ諸国によるラテンアメリカ諸国の独立への干渉に反対し、イギリス外相（K）も、ラテンアメリカ諸国の独立を承認、援助した。

ヨーロッパでも、1821年に（L）がオスマン帝国からの独立戦争をおこすと、イギリス、フランス、ロシアが介入して、1829年に独立が達成され、1830年のロンドン会議で列国の承認を得た。

(2005年 明治学院大経済・社会【3】:改題)

---

## <解答>

- A ハイチ      B トゥサン＝ルーヴェルチュール      C シモン＝ボリバル  
D サン＝マルティン      E ブラジル      F クリオール      G メスティーソ  
H ムラート      I メッテルニヒ      J モンロー      K カニング      L ギリシア

## 基本問題2

次の文章を読んで、( A ) ～ ( L ) にもっとも適切な語句を記入し、下線部〔1〕～〔4〕についてあとの問いに答えよ。

〔1〕( A ) 年に起きた七月革命の後、国王として迎えられたオルレアン家の ( B ) はブルジョワ的自由主義者として知られていた。彼は銀行家、大商工業者、大地主らの支持を受け、国内の産業革命を進展させていく。しかしその過程で伝統的な手工業者の生活は圧迫され、工場労働者は低賃金、長時間労働と都市への人口集中による劣悪な生活環境に苦しめられた。特に〔2〕子供の長時間労働は大きな問題であった。サン＝シモンやフーリエといったフランスの ( C ) 者たちは、このような労働、社会問題を生み出す資本主義体制を批判し、( D ) は『所有とは何か』を著して ( E ) ・教会・国家の廃止を説いた。またこの体制下では〔3〕制限選挙制が取られていたため、その撤廃を求める運動が盛んとなる。1847年には各地で集会禁止令に触れないよう会費制の ( F ) という形での運動が展開されたが、翌年政府がこれを禁止したため、パリで労働者や学生が立ちあがり、( G ) 革命が起こった。国王はイギリスへと亡命し、臨時政府が樹立された。しかしこの政府は最初からブルジョワと労働者を代表する ( C ) 者たちの対立を内包していた。入閣した ( H ) らは、労働時間の制限や失業者対策としての ( I ) 設置などの ( C ) 政策を推進したが、逆に農民の支持を失い〔4〕4月に行われた選挙で大敗し、政府から追放された。これに対し、パリの労働者たちは、( J ) 蜂起を起こしたが、鎮圧された。しかしこの年12月に行われた ( K ) 選挙では、ナポレオン1世の甥ルイ＝ナポレオンが農民、軍隊、そして反ブルジョワの労働者の票を得て当選した。彼は1852年に ( L ) によって皇帝に就任し、ここにフランス第二帝政が始まる。彼の支配のもと、1860年代にはパリの安定化、衛生化を目指した大改造が行われ、現在のパリの基本的景観が生み出された。しかしこの都市改造は、労働者を「危険な階級」とみなし、ブルジョワと労働者の住み分けを目指すものでもあった。

〔1〕この革命の影響を受けて独立を達成し、立憲君主国となったのはどこか。

〔2〕労働問題はフランスだけではなくヨーロッパ各地で発生しつつあった。1833年にイギリスで制定された、年少労働者の労働条件を規制した法律を何と呼ぶか。

〔3〕

(a) この制限選挙制において、有権者は人口の何%程度におさえられていたか。次の①～⑤から選び記号で答えよ。

- ① 1%以下    ② 3～5%    ③ 7～10%    ④ 20～23%    ⑤ 27～30%

(b) 同じ頃イギリスでも、オーウェンに率いられた労働者たちによる選挙法改正を目指す運動が繰り広げられていた。その運動を何と呼ぶか。

[4] これはどのような選挙制度のもとに行われたか。

(2001年 立命館大経済【4】:改題)

---

**<解答>**

A. 1830 B. ルイ=フィリップ C. 社会主義 D. プルードン E. 私有財産

F. 改革宴会 G. 二月 H. ルイ=ブラン I. 国立作業場 J. 六月

K. 大統領 L. 国民投票

[1] ベルギー [2] (一般)工場法 [3] (a) -① (b) チャーティスト運動

[4] 男子普通選挙

### 基本問題3

次の文章を読んで空欄に最も適切な語句あるいは数字を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

ウィーン会議以降の政治情勢はイタリアの国家統一に大きな影響を与えた。ウィーン会議は絶対主義勢力の復活によって、ヨーロッパの旧来の秩序回復を狙ったものだが、それに対抗すべく、各地で自由主義的な国民運動が展開され、社会主義的思想も芽生えた。また外国勢力に支配された国々では民主的な国家統一運動が活発化した。イタリアの国家統一運動はこうした状況下で成しとげられた。

18世紀イタリアは、スペイン、オーストリアという大国に支配され、独立国家は数少なかった。18世紀末、ナポレオンの侵入により、イタリアの国土のかなりの部分が占領されたが、その支配は長くは続かなかった。ナポレオンの没落後に開かれたウィーン会議で、長い間共和国として繁栄してきた（A）は独立を認められず、ロンバルディアとともに、オーストリアの支配下に入った。こうして北イタリアは、独立国家のサルデーニャ王国をのぞけば、その多くがオーストリアの支配下に置かれることになった。

ナポレオンはイタリアの国土を蹂躪じゅうりんしたが、自由主義、共和主義といった理想をもたらした。長い間外国勢力の支配に苦しめられてきたイタリアでは、こうした理想はイタリア独立運動と結びつけられ、19世紀の初めに秘密結社の色彩の強い（B）が結成された。（B）は自由主義的改革を求め、1820年のスペインの（C）に触発されて、同年にナポリ近郊で反乱を起こしたが、やがてオーストリア軍に鎮圧された。

1831年、（B）に参加していたジュゼッペ・マッツィーニはイタリアの独立と共和政の実現を目指す急進的な政党、（D）を結成した。同党は1830年代、40年代に何度か蜂起を企てるが、みな失敗に終わった。しかし同党の影響を受け、ドイツ、ポーランド、アイルランドに同じような政党が作られ、独立運動に活躍した。

1848年2月、パリで共和主義的改革を求める市民が蜂起した。国王（E）は退位し、共和政の臨時政府が設立され、男子普通選挙制の採用など、諸改革を行った。同年3月、ウィーンで学生、市民、労働者が憲法の制定、出版の自由などを求めて蜂起した。その結果として（F）は失脚し、ロンドンに亡命した。皇帝は憲法の制定を約束し、自由主義内閣を成立させた。（F）の失脚を機に、ハンガリー、北イタリアで民衆の蜂起が起きた。ハンガリーでは（G）が立憲主義的改革とハンガリーの自主独立を求め、改革運動の指導者として活躍した。北イタリアのミラノでは、市民、労働者がオーストリアの支配に対抗して蜂起を起こし、激しい市街戦の末、オーストリア軍を打ち破った。ミラノはほどなくしてオーストリアの支配下に戻るが、国家統一の熱気はこの事件で燃え上がった。

( H ) 年には共和主義を旗印に、マッツィーニらが参加して、ローマ共和国が建設された。同共和国は急進的改革を唱えたが、ローマ教皇はフランスに援助を頼み、フランス軍につぶされてしまった。

イタリアの統一は穏健な自由主義を掲げるサルデーニャ王国が主導することとなった。国王 ( I ) のもとで首相となったカヴールは国内の近代化を進めるとともに、国際世論に統一の正当性を訴え、( J ) 戦争にも参加し、列強の支持を獲得した。〔1〕1858年、カヴールはフランスのナポレオン3世と密約を結び、翌年オーストリアに宣戦を布告した。サルデーニャ王国とフランスの連合軍はオーストリア軍を打ち破ったが、ナポレオン3世は途中で態度を変え、単独でオーストリアと休戦を結んでしまった。そのためサルデーニャ王国はロンバルディアを得るだけにとどまった。

1860年、( D ) に属していた ( K ) は義勇軍をひきいてシチリア島を占領し、さらに南イタリアも征服して、これらの地域をサルデーニャ王に献じた。こうして1861年に ( I ) を国王とするイタリア王国が誕生した。しかしオーストリアの支配下にあった ( A ) とローマ教皇領はまだ未統一だった。( A ) がイタリアに統合されたのは1866年の ( L ) 戦争の後であり、ローマ教皇領は1870年の ( M ) 戦争の際、イタリア王国軍がローマを占領することで〔2〕統合が実現されたのである。

〔1〕 この密約の名を記せ。

〔2〕 統合実現後もオーストリアの支配下にとどまったイタリア人居住地域のことを何と呼ぶか。

(2005年 立命館大【4】)

---

### <解答>

A ヴェネツィア    B カルボナリ    C 立憲革命    D 青年イタリア  
E ルイ＝フィリップ    F メッテルニヒ    G コシュート    H 1849  
I ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世    J クリミア    K ガリバルディ  
L 普墺    M 普仏

〔1〕 プロンビエール密約    〔2〕 未回収のイタリア

## 基本問題 4

つぎの文章 (A～E) は、フランス二月革命 (1848 年) が周辺各国に与えた影響と、その後の政治的展開について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。

- A. フランスにおける二月革命は、周辺諸国に大きな影響を与えた。イギリスでは、都市労働者を中心とする (a) 選挙権拡大運動 がさらに活発になり、その最高潮に達した。またオーストリア帝国では、ウィーンで三月革命が起こり、反動政治を推進してきた ( 1 ) は、イギリスに亡命した。多数の民族を抱えていた同帝国では、革命をきっかけに各地で武装蜂起が発生し、民族主義の気運が高まるなかで、ハンガリーでは ( 2 ) が、チェコでは ( 3 ) が民衆運動を率いた。他方、オーストリア帝国の皇帝は、クロアチアの政治家イェラチッチに、ハンガリーやウィーンの革命の鎮圧にあたらせた。隣国プロイセンではベルリンで三月革命が発生し、自由主義内閣が成立した。
- B. 二月革命の影響は諸国分立の状態にあったイタリアにも波及し、国家統一と改革を目指す (b) 一大運動 を生み出した。イタリア北西部を支配下におくサルデーニャ王国の国王 ( 4 ) は、オーストリアに宣戦して北イタリアを統合しようとしたが、失敗した。他方、共和制と国土統一を目指す組織である ( 5 ) を率いた ( 6 ) は、1849 年にローマ共和国を樹立したが、ローマ教皇の要請を受けたフランス軍によって武力鎮圧された。
- C. 二月革命後の動乱が一段落すると、ヨーロッパでは民主的改革を求める民衆の運動と、民族・国家の独立と統一を志向する潮流とが、複雑に交錯しながら並立的に発展した。イギリスでは、保守党のもとで 1867 年に、第 2 回選挙法改正によって都市労働者の参政権を実現した。1870 年代に首相を歴任したディズレーリは ( 7 ) 運河を支配下におき、1877 年に ( 8 ) 帝国を成立させるなど、帝国主義的外交を推進することになる。また内政を重視する自由党のグラッドストーンは、( 9 ) 年に第 3 回選挙法改正をおこない、農業・鉱業労働者にまで参政権を拡大した。一方、帝政下のフランスでは、国民の人気取りを狙うナポレオン 3 世の対外戦争が相次いだが、1870 年、(c) プロイセンとの戦争 でフランスは大敗を喫し、共和制が宣言された。
- D. イギリスやフランスと異なり、近代国家形成にたち遅れたその周辺諸地域では、国家統一に向けての動きが強まった。プロイセンは 1862 年に首相に就任した ( 10 ) のもとで強硬な (d) ドイツ統一策 をとり、1834 年に結成された ( 11 ) を中心に産業を振興するとともに、数次にわたって対外戦争をおこなった。1864 年には ( 12 ) と戦い、シュレスヴィヒ・ホルシュタインの両地域を獲得し、続いて 1866 年、オーストリアと交戦し、これに勝利を取めた。それから 4 年後の 70 年にフランスとの間の戦いでナポレオン 3 世を降伏させたプロイセンは、翌 71 年、( 13 ) を初代皇帝に戴くドイツ帝国を成立させた。こ



の際、ドイツはフランスから（ 14 ）の両地域を割譲させた。

E. 1849年にサルデーニャ王国の王位についた（ 15 ）は、首相カヴールの助けを得て、イタリアの国家統一を目指した。まずオーストリアと戦い、（ 16 ）地方を得るとともに、翌60年には(e)中部イタリア諸国を併合した。それと並行して、ガリバルディが南イタリアを制圧したので、これをあわせて1861年、トリノを首都に（ 15 ）を国王とするイタリア王国が成立した。その後、1866年には（ 17 ）を、また普仏戦争に際しては（ 18 ）を併合した。1871年、首都がローマに定められ、イタリアの国家統一は一応完成したが、トリエステと（ 19 ）などが「未回収のイタリア」として残された。

設問1. 空欄(1)～(19)に入るもっとも適切な語を答えなさい。

設問2. 下線部(a)について、この運動が展開された時代には、労働者の過酷な状態を改善させるべく、数次にわたって重要な法律が制定されたが、この法律の名称を答えなさい。

設問3. 下線部(b)について、この運動はイタリア語で「再興」を意味する言葉で呼ばれているが、その名称を答えなさい。

設問4. 下線部(c)について、この戦争で、ナポレオン3世が包囲され捕虜となったフランス東部国境の町はどこか。その名称を答えなさい。

設問5. 下線部(d)について、1862年におこなわれたビスマルクの議会演説のなかの言葉から、彼の政策は何と呼ばれるようになったか。その政策名を答えなさい。

設問6. 下線部(e)について、中部イタリア諸国の併合をフランスが承認することと引き替えに、イタリアからフランスに割譲された2つの地域の名称を答えなさい。

(2007年 中央大法【2】:改題)

---

## <解答>

設問1.

1. メッテルニヒ
2. コシュート
3. パラツキー
4. カルロ=アルベルト
5. 「青年イタリア」
6. マッツイーニ
7. スエズ
8. インド
9. 1884
10. ビスマルク
11. ドイツ関税同盟
12. デンマーク
13. ヴィルヘルム1世
14. アルザス・ロレーヌ
15. ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世
16. ロンバルディア
17. ヴェネツィア
18. (ローマ) 教皇領
19. (南) チロル

設問2. 工場法

設問3. リソルジメント

設問4. スダン [セダン]

設問5. 鉄血政策

設問6. サヴォイア・ニース

## 基本問題 5

ドイツとイタリアの国家統一の過程について述べた以下の文章を読んで、問1、問2の設問に答えなさい。

ドイツとイタリアが、長い分裂の時代から国家統一へと向かったのは19世紀に入ってからのものである。その一つのきっかけとなったのが、ナポレオンによる支配である。

ナポレオンは、1805年に[ 1 ]の戦いによってオーストリア・ロシア両軍を撃破したのち、(A) 西南ドイツ地方の諸領邦に同盟を結ばせて保護下に置いた。さらに、プロイセンとも戦って勝利を取め、1807年に[ 2 ]で条約を結んで、プロイセンから領土を割譲させた。これをきっかけとしてプロイセンでは(B) シュタインらが国内改革を推進し、また、(C) 哲学者フィヒテは連続講演を行い、ドイツ人の国民意識の覚醒を訴えた。フィヒテは1810年に創立された[ 3 ]大学の学長にも就任し、同大学はプロイセンの文化的復興の中心となった。ナポレオン失脚後、ウィーン体制のもとでドイツ連邦が形成されたが、これはドイツの政治的統一にはほど遠かった。(D) 自由と統一を求める学生たちは団体を結成しウィーン体制に対抗したが、メッテルニヒによって弾圧された。1848年に三月革命が起こると、自由主義的な市民層は[ 4 ]で立憲議会を開催した。この会議は統一の方法をめぐり、君主制か共和制か、(E) 小ドイツ主義か大ドイツ主義かで紛糾した。自由主義者による統一の試みが挫折したのち、統一の主導権はプロイセンの政府や軍部が握ることになった。プロイセン王ヴィルヘルム1世のもとで宰相に就任したビスマルクは、1864年にオーストリアと結んで(F) デンマークと戦い勝利した。ついで、1866年にはオーストリアと戦って勝利し、さらに1870年にフランスとの間で戦争を行い、ナポレオン3世を降伏させた。この結果、ヴィルヘルム1世は[ 5 ]でドイツ皇帝の位に就く宣言を行い、統一国家としてのドイツ帝国が成立した。

イタリアもまた、ナポレオンによる支配のもとで国家統一をめざす動きが始まった。ウィーン体制下では、イタリア諸地域の大半がオーストリアの影響下に置かれた。当初、従属からの解放を願う運動は秘密結社によって担われたが、マッツイーニは(G) イタリアの統一を公然と掲げる新しい組織を結成し、1849年には[ 6 ]に共和国を樹立した。しかし、この共和国がフランスやオーストリアの干渉によって倒されると、マッツイーニら民主派の運動は停滞した。それに代わって統一の主導権を握ったのが、[ 7 ]を首都とするサルデーニャ王国であった。その宰相カヴールはナポレオン3世と密約を結んでフランスの支持をとりつけ、1859年には対オーストリア戦争を開始して北イタリアの一部を獲得した。翌年には、サヴォイアと[ 8 ]をフランスに割譲するかわりに、中部イタリアを併合することをフランスに認めさせた。他方、(H) ガリバルディはシチリア島への遠征を行って南イタリアを併合し、この地をサルデーニャ国王に献じた。その結果、1861年にイタリア王国が成立した。その後、

イタリア王国は普墺戦争に際して[ 9 ]を併合し、普仏戦争に乗じて[ 6 ]を併合してこれを新たな首都とした。ここに、イタリアの統一は一応の完成をみた。

問1 文章中の[ 1 ]～[ 9 ]に入れるのに最も適切な語句を以下の語群のなかから選  
びなさい。ただし、[ ]内の数字が同一のものには、同一の語句が入るものとする。

語群

- |   |          |   |         |   |        |   |        |
|---|----------|---|---------|---|--------|---|--------|
| a | アウステルリッツ | b | アミアン    | c | イエナ    | d | ヴェネツィア |
| e | ヴェルサイユ   | f | エムス     | g | ティルジット | h | トリノ    |
| i | ナポリ      | j | ニース     | k | フィレンツェ | l | プラハ    |
| m | プロンビエール  | n | フランクフルト | o | ベルリン   | p | ミラノ    |
| q | ライプツィヒ   | r | ローマ     | s | ワイマール  |   |        |

問2 文章中の下線部AからHについての質問に答え、解答を解答欄に記入しなさい。

- A この同盟の名称を答えなさい。
- B この改革で行われた具体的内容について、一つあげなさい。
- C この連続講演は通常何と呼ばれるか。その名称を答えなさい。
- D この団体の名称を答えなさい。
- E この考え方はどのようなものか。その内容について、30字以内で記しなさい。
- F この戦いによってプロイセンが獲得した地方はどこか。その名称を答えなさい。
- G この組織の名称を答えなさい。
- H この遠征で彼が率いた部隊は通常何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

(2007年 日本女子大文【4】:改題)

---

### <解答>

問1.

- 1-a    2-g    3-o    4-n    5-e    6-r    7-h    8-j  
9-d

問2.

- A. ライン同盟    B. 農民解放〔営業の自由, 教育改革, 軍制改革〕  
C. 「ドイツ国民に告ぐ」    D. ブルシェンシャフト  
E. オーストリアを除き, プロイセン中心にドイツ統一を目指す考え。(30字)  
F. シュレスヴィヒ    G. 「青年イタリア」    H. 千人隊〔赤シャツ隊〕

## 基本問題6

次の文を読み以下の問いに答えよ。

ナポレオン戦争後のウィーン体制の下で、かつての神聖ローマ帝国の版図の大半は、( 1 )へと改組された。しかし、その内部では政治的分裂が続き、ナポレオン戦争をきっかけとする民族意識・国民主義の高まりから、統一ドイツ国家の形成が求められた。

ドイツ統一の中心となったのは、ウィーン条約でライン地方を得たプロイセン王国だった。ナポレオンの没落前からプロイセンでは( 2 )・( 3 )らによる農民解放などの国制改革が行われ、また、「ドイツ国民に告ぐ」と題した講演で知られる( 4 )らの精神運動によってドイツ民族意識が高められた。

ウィーン体制下、このプロイセンが中心となって1834年に( 5 )が発足し、ドイツの経済的な統一がほぼ完成した。しかし、政治的統一の実現にはさらに年月を要した。

1848年パリで起こった二月革命の影響は暴動となってプロイセンをはじめとするドイツ諸邦にもおよんだ。この際、自由主義的気運が盛り上がり、ドイツ統一と全国憲法制定のため、ドイツ諸邦の自由主義者からなる(イ)国民議会が開かれたが、(A)ドイツ統一の方式を巡っては二つの立場が対立し、自由主義者の主導によるドイツ統一は失敗に終わった。その後、自由主義者に代わって、プロイセンの政府・軍部を支配する(ロ)へと、統一の主導権は移った。

1862年プロイセンの首相となった(ロ)出身のビスマルクは、(B)武力によるドイツ統一問題の解決を訴え、議会の反対を押し切って軍備を拡張した。ビスマルクは、1864年には( 6 )との戦争で、シュレスヴィヒの行政権を奪い、さらに1866年この2州を巡ってオーストリアと戦いこれを破ると、ドイツ連邦を解体し、翌年プロイセンを盟主とする( 7 )を作り上げ、ドイツ統一を完成に近づけた。

フランスの( 8 )は、プロイセンの強大化を警戒し、1870年7月プロイセンに宣戦した。プロイセンを中心とするドイツ諸邦の連合軍は、たちまちフランスに侵入して、9月( 8 )をセダンで降伏させ、フランスの帝政は廃止された。(C)翌71年1月末にフランスはドイツに降伏した。

フランスの降伏に先立ち、1871年1月半ば、( 9 )は( 10 )でドイツ皇帝の位につき、ドイツ帝国が成立し、プロイセンを中心としたドイツ統一の動きは一応の完成をみた。

問1 文中の ( 1 ) ~ ( 10 ) の中に、次の語群から適切な語句を選び、記号で答えよ。

[語群]

あ. 北ドイツ連邦    い. ドイツ連邦    う. ルイ=フィリップ    え. ヴェルサイユ

お. デンマーク    か. オランダ    き. フリードリヒ=ヴィルヘルム1世

く. ライン同盟    け. ナポレオン3世    こ. フォイエルバッハ

さ. カール=ヴィルヘルム=フンボルト    し. ハルデンベルク    す. シュタイン

せ. ドイツ関税同盟    そ. フィヒテ    た. ヴィルヘルム1世    ち. シャルンホルスト

つ. プロイセン・ヘッセン関税同盟    て. トリアノン

問2 文中の ( イ ), ( ロ ) の中に適切な語句を記入せよ。

問3 下線部 (A) ~ (C) について次の問いに答えよ。

(A) オーストリアのドイツ人地域を含む統一方式を主張する立場はどのように呼ばれたか。

(B) この政策はどのように呼ばれたか。

(C) この際フランスがドイツに割譲した2州は何というか。

(2004年 札幌大文化【3】)

---

### <解答>

問1

(1) い    (2)・(3) し・す    (4) そ    (5) せ    (6) お    (7) あ

(8) け    (9) た    (10) え

問2 (イ) フランクフルト    (ロ) ユンカー

問3 (A) 大ドイツ主義    (B) 鉄血政策    (C) アルザス・ロレーヌ

## 基本問題7

次の文を読み、空欄（ 1 ）～（ 11 ）に最も適当と思われる語を入れなさい。

国民の意思に基づいて政治が行われる民主主義体制においては、参政権をできるだけ平等に認めることが重要な課題である。民主主義が早くから発達した欧米諸国においても、19世紀から20世紀にかけてさまざまな抵抗を受けながら普通選挙制が確立していった。

イギリスでは、名誉革命以降議会主権が確立し、立憲政治が発展したが、参政権はかなりの財産を所有するものに限られていた。（ 1 ）年に実現した第1回選挙法改正では、選挙区に関する弊害が是正され、選挙資格も新興の産業資本家や都市・農村の中産層に広げられた。この結果、産業資本家の政治的発言力が強まり、1846年の（ 2 ）や1849年の（ 3 ）などによって自由貿易の原則が確立された。

一方、この第1回選挙法改正では労働者階級の大部分は選挙権を与えられなかった。やがて労働者階級は選挙権の獲得を目指して（ 4 ）運動を起こし、1839年には（ 5 ）が議会に提出された。（ 5 ）は、「男子普通選挙の実施」を含む6つの要求項目を列挙するものであった。このような要求の高まりに応じて、実質的にほぼ男子普通選挙制が成立したといえるのは、（ 6 ）年の第2回選挙法改正、及び（ 7 ）年の第3回選挙法改正を経た後のことである。

こうした労働者階級による参政権要求の背景には、労働者の悲惨な生活状況や過酷な労働条件の改善を求める動きがある。1810年代には、生活の窮状の原因が機械にあると考えた労働者による（ 8 ）運動が多発した。その後政府も労働者保護の必要性を認め、1833年には労働時間や雇用年齢の制限を盛り込んだ（ 9 ）を制定するなど労働法が整備された。選挙法改正によって労働者が参政権を獲得した後、1906年の総選挙で労働代表委員会は29議席を獲得し、（ 10 ）と改称した。

婦人参政権が確立したのは、20世紀に入ってからである。（ 11 ）年の第4回選挙法改正では、30歳以上という年齢制限があったものの、初めて女性に対して選挙権が認められた。その後1928年の第5回選挙法改正で、男女ともに21歳以上の国民に選挙権が与えられ普通選挙制が完成した。婦人参政権の実現を目標として掲げていた（ 10 ）は、翌年の選挙で初めて第1党の地位を獲得している。

(2002年 津田塾大学芸【3】:改題)

**<解答>**

- 1.1832    2.穀物法の廃止    3.航海法の廃止    4.チャーティスト    5.人民憲章  
6.1867    7.1884    8.機械打ちこわし〔ラダイト〕    9.工場法    10.労働党  
11.1918



## 基本問題8

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

18世紀後半にイギリスではじまった産業革命は19世紀半ば以降、他のヨーロッパ諸国や米国にも広がった。19世紀後半はまた、欧米諸国において国民国家体制が確立し、政治的安定が到来した時代でもあった。この繁栄は19世紀末に頂点に達し、第一次世界大戦までの十数年間は、ベル・エポックとよばれたほどである。しかし、繁栄への道のりは決して平坦ではなく、多くの人々に犠牲を強いるものであった。

フランス革命によっていち早く国民国家建設に着手したフランスの場合、( ① )年の七月革命や( ② )年の二月革命、さらには( ③ )による第二帝政というように政治情勢がめまぐるしく変動した。( ③ )はAプロイセンとの戦争に敗北したのをきっかけに失脚し、その後成立した臨時政府は1871年1月に降伏する。しかし、この講和を認めないパリの民衆や社会主義者たちは同年3月、( ④ )とよばれる革命的自治政府を樹立する。5月末、この自治政府は共和派政府によって鎮圧されるが、多数のパリ市民が弾圧の犠牲となった。国民統合が軌道にのるのは、19世紀末～20世紀初頭の( ⑤ )以降においてであった。

イギリスでは対照的に、国内政治は比較的安定していた。三度にわたる( ⑥ )などを通じて国民の政治参加が漸進的に拡大し、いわゆる( ⑦ )時代にはB保守党と自由党の二大政党が交互に政権を担当する議会政党政治が確立する。イギリスの政治的安定を可能にしたのはその経済力であったが、それは労働者の過酷な労働に支えられており、ロバート＝オーウェンをはじめとし、彼らの労働条件を改善しようとする思想家があらわれた。Cまた、1801年にイギリスに併合されたアイルランドではイギリス人不在地主の下、小作人たちは厳しい生活を強いられ、1840年代の飢饉では100万人以上が餓死し、多数の人々が米国への移住を余儀なくされた。

これらの移民にとり新天地であったはずの米国もまた、厳しい政治的試練にさらされた。メキシコとの戦争などを通じて領土を拡大したが、( ⑧ )の存続をめぐる南部と北部の対立を激化し、1861年の( ⑨ )戦争へとつながった。米国が政治的安定と経済的繁栄を享受するのは、( ⑨ )戦争後のことであった。( ⑩ )の建設などにより西部開拓が進み、1890年代にはフロンティアが消滅する。以後、米国はカリブ海地域や太平洋地域への本格的な進出を視野に入れることとなる。D 1898年に起きたアメリカ・スペイン戦争はその最初の兆候であった。

問1 ( ① )～( ⑩ )に適切な人名・語句・数字を記しなさい。

問2 下線部Aに関し、プロイセン側で戦争を指導した政治家の名前を記しなさい。

問3 下線部Bに関し、この時代の保守党(ア)、自由党(イ)をそれぞれ代表する政治家の名前を記しなさい。

問4 下線部Cに関し、主食の地位にあった新大陸原産の作物の名称を記しなさい。

問5 下線部Dに関し、米国がアジアに獲得した植民地の地名を記しなさい(ア)。また1899年に米国の国務長官が中国市場に関して発表した原則の名称を記しなさい(イ)。

(2007年 青山学院大法【2】:改題)

---

### <解答>

問1

- ① 1830    ② 1848    ③ ナポレオン3世    ④ パリ・コミューン  
⑤ 第三共和政    ⑥ 選挙法改正    ⑦ ヴィクトリア    ⑧ 奴隷制    ⑨ 南北  
⑩ 大陸横断鉄道

問2. ビスマルク

問3. (ア)ディズレーリ    (イ)グラッドストーン

問4. ジャガイモ

問5. (ア)フィリピン    (イ)門戸開放

## 基本問題9

上記の文章の中の〔(1)〕～〔(9)〕に適當する語句を記しなさい。

ロシアは19世紀になっても、〔(1)〕と呼ばれる皇帝専制の支配体制と、その基礎となっていた農奴制が、きわめて強固であった。1825年の〔(2)〕を鎮圧して即位したのがニコライ1世であった。彼は〔(3)〕年に始まったヨーロッパの諸革命に際しても、革命の影響がロシアに波及するのを恐れ、ポーランドやハンガリーなどの民族運動を軍事力によって鎮圧することに努めた。しかし1853年にオスマン帝国と開戦し、南下政策を強行しようとする、イギリスとフランスがロシアに宣戦し、この〔(4)〕戦争にロシアは敗北する。その結果、1856年に〔(5)〕が結ばれ、ロシアの南下政策は挫折した。

この戦争の末期にニコライ1世は死去し、〔(6)〕が即位する。この皇帝はロシアの敗因が国内の近代化の遅れにあることを認識し、「大改革」に着手する。こうして西欧の近代的技術を導入する施策をとると同時に、社会的、制度的改革もすすめるが、その中心となったのが、〔(7)〕年に宣布された農奴解放である。この結果、農民は領主支配からの法的自由を得て、〔(8)〕と呼ばれるロシア古来の農村共同体に属する農民身分となった。

農村共同体を基礎とする新しい社会の実現をめざした〔(9)〕の運動が高まるのもこの時代である。

(2000年 日本女子大文【3】:改題)

### <解答>

- (1) ツァーリズム (2) デカブリストの乱 (3) 1848 (4) クリミア  
(5) パリ条約 (6) アレクサンドル2世 (7) 1861 (8) ミール  
(9) ナロードニキ

## 基本問題 10

次の文章は19世紀のロシアの歴史について述べたものである。下線部(1)～(4)に対応する問1～問4に答えなさい。

ロシアでは、19世紀後半にいたってアレクサンドル2世が自由主義的改革に着手した。その成果の代表的なものが(1)農奴解放令の発布である。しかしアレクサンドル2世は、その治世の後半においては専制政治の傾向を強めた。これに失望した知識人階級のなかには(2)農民を啓発する運動に走るものも出た。知識人階級による社会主義的改革は農民に支持されず、知識人の一部は急進的な行動をとるようになった。これらの動きの背後には広範な(3)ニヒリズムの潮流があった。このような国内の不安を国民の目からそらすために、ロシアは(4)対外的な進出策をおしすすめた。

問1 農奴解放令が出された年におこった出来事を、以下の(あ)～(お)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (あ) ドイツ王国の成立      (い) イタリアの統一の完成      (う) スエズ運河の開通  
(え) 南北戦争の開始      (お) イギリスの第二回選挙法改正

問2 知識人階級のなかには、農村に入って直接に農民に働きかけて、社会主義的改革をおこなうことが必要であると考えたものが現れた。彼らは普通何と呼ばれたか、呼称を記入しなさい。

問3 『父と子』を著し、その中でニヒリズムの典型的な姿を描いたといわれる作家名を記入しなさい。

問4 この時期にロシアがとった対外進出の政策を、以下の(あ)～(お)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (あ) イギリスと結び、東南アジアへ進出する。  
(い) バルチック艦隊を強化し、バルト海に進出する。  
(う) 主として朝鮮半島に進出し、やがて日本と戦う。  
(え) 南下政策を強化し、その一環としてオスマン帝国に圧力を加えていく。  
(お) 東ヨーロッパに進出し、ポーランドを分割する。

(2003年 明治学院大経済・社会【3】：改題)

### <解答>

問1 え      問2 ナロードニキ      問3 トウルゲーネフ      問4 え

## 基本問題 11

次の文章A、Bの（ ）の中に適切な語句を入れ、下線部(1)～(12)についての後の設問に答えよ。

A

シベリアという地名は、(1)16世紀、ロシアのウラル山脈以東への進出にともなって征服されたシビル＝ハン国の名称に由来する。ロシアは、毛皮や鉱物資源を求めてシベリアの開発を進め、17世紀前半には太平洋岸に達した。このためアムール川(黒竜江)流域をめぐって中国と利害が衝突し、1689年に清朝とのあいだでスタノヴォイ山脈(外興安嶺)を境界とする条約を結んだ。

18世紀にはいると(2)ロシアは2度にわたってカムチャツカの探検を組織し、アラスカに到達した。伊勢国出身の船頭、大黒屋光太夫が遠州灘で遭難し、アリューシャン列島に漂着したのは、18世紀末のことである。光太夫はシベリアを横断してロシアの当時の首都( a )に至り、(3)エカチェリーナ2世に拝謁したのち、1792年に帰国した。1847年、初代東シベリア総督に任命されたムラヴィヨフは武力でアムール川地方を占領し、(4)1858年に清朝との間に条約を結んでアムール川以北をロシア領とした。さらに(5)1860年の北京条約によりウスリー川以東の沿海州がロシア領となった。1891年よりシベリア鉄道の建設を始めたロシアは、(6)1896年、中国領内を経由して沿海州に至る( b )の敷設権を獲得し、1903年にこれを完成した。シベリア鉄道は日露戦争にさいして兵員や物資の輸送に利用されたが、ロシア革命後の対ソ干渉戦争によって大きな被害を受けた。

19世紀をつうじてシベリアは、ツァーリの支配体制に反抗する政治犯の流刑地でもあった。デカブリストの乱やポーランドの反ロシア蜂起の参加者たち、1870年代の( c )、90年代以降のマルクス主義者をはじめとする革命家たちの多くがシベリアに送られた。

問

- (1) このときシビル＝ハン国の首都を占領し、ロシアの本格的なシベリア進出のきっかけをつくったドン＝コサックの族長は誰か。
- (2) この探検によって、北極海と太平洋を結ぶ海峡の存在が確認された。この探検隊の隊長の名を記せ。
- (3) 大黒屋光太夫は、日本に対して通商を求めるロシアの使節の船で帰国した。この使節は誰か。

- (4) この条約は、イギリスとフランスによる中国への侵略戦争に乗じて締結された。この戦争の名称を記せ。
- (5) 1860年に建設が開始され、のちにロシアの極東政策の拠点となる沿海州の港湾都市の名を記せ。
- (6) 同じ頃、ヨーロッパのある国が西アジアへの進出を図り、アナトリアからペルシャ湾に至る鉄道の敷設権をオスマン帝国より獲得した。この国の名称を記せ。

## B

17世紀から18世紀にかけて、北米大陸の大西洋岸にイギリスが建設した各植民地は、成立の経緯も、経済的基盤も、支配のあり方もそれぞれに異なっていた。ロンドン会社による入植が行われたヴァージニア植民地では、(d)のプランテーションが成功し、大土地所有が進んだ。一方、(7)ピュールタンによって建設されたマサチューセッツ植民地では、宗教的な規律が重視される政教一致の体制が築かれ、またそれを嫌う人々によって他の植民地が分離、成立した。カトリック教徒が入植したメリーランドや、クェーカー教徒によって建設されたペンシルヴァニアもあった。独立前、最後に建設されたジョージアの場合は、当初、本国の債務者監獄の囚人を解放して入植させ、同時に南からのスペインの侵攻に備えるために計画されたものであった。

このようにばらばらな北米大陸の植民地に一体感をもたらしたのは、むしろイギリス本国が植民地に課した重商主義的な規制であったといえよう。1651年の航海法をはじめ、17世紀後半から18世紀前半にかけても重商主義的な立法は存在したが、それが厳格に強制され、また(8)新たな規制および課税の攻勢がかけられるようになったのは、(9)七年戦争の結果、北米大陸にあったフランスの脅威が取り除かれて以降のことである。植民地は本国議会に代表を送っていないにもかかわらず課税されることに強く反発し、(10)抵抗を開始した。本国政府は抑圧をもってそれに応え、対する各植民地は代表を(e)に送って、1774年、最初の大륙会議が開かれた。こうして植民地間の結合がもたらされたのである。

(11)本国との戦争、独立宣言の公布を経て、1783年パリ講和条約でアメリカ合衆国の独立が承認された後も、かつての植民地は州として、個別の政治体としての性格を維持した。1787年に開かれた憲法制定会議では、(12)中央政府の権限を強化しようとする人々と、制限しようとする人々との間に対立が見られたが、翌年発効した合衆国憲法は、権限を中央政府と各州に分配しながらも、外交や軍事、課税にとどまらず、州際通商の規制など比較的広範な権限を中央政府にあたえ、アメリカの統合を目指すものであった。

問

- (7) これらの植民地が存在した地方を何と呼ぶか。
- (8) この時期の規制・課税立法の例を一つあげよ。
- (9) このできごとについて説明せよ。
- (10) この時期の抵抗の例を一つあげよ。
- (11) この戦争の期間中、本国からの独立と共和政の樹立の正当性を主張して大きな影響のあったトマス＝ペインの著作は何か。
- (12) この人々を何と呼ぶか。

(2004年 京大【4】:改題)

---

**<解答>**

- a. ペテルブルク    b. 東清鉄道    c. ナロードニキ    d. タバコ
- e. フィラデルフィア
- (1) イェルマーク    (2) ベーリング    (3) ラクスマン    (4) アロー戦争
- (5) ウラジヴォストーク    (6) ドイツ    (7) ニューイングランド
- (8) 印紙法〔砂糖法, タウンゼンド諸法, 茶法〕
- (9) パリ条約でフランスは北米におけるすべての領土を失った。
- (10) ボストン茶会事件    (11) 『コモン・センス〔常識〕』    (12) 連邦派 (フェデラリスト)

## 基本問題 12

次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。

アメリカ合衆国は、19世紀の間に現在の版図をほぼ完成していった。まず(イ)年、〔あ〕大統領がフランスからルイジアナを1500万ドルという破格の安値で購入して一挙に領土を倍増させた。ルイジアナ購入はフランスの脅威を減じるとともに、市民の大部分が自営農となるような共和政の連邦国家＝「自由の帝国」の実現をめざすものであった。アメリカは(ロ)年にはスペインからフロリダを500万ドルで買取り、メキシコ領〔い〕を併合して、さらに(ハ)年には英米の共同領有地であった〔う〕地方をも併合した。続いて1) アメリカ＝メキシコ戦争によってカリフォルニアとニューメキシコを1500万ドルで割譲させたアメリカは、宿願をかなえて大西洋岸から太平洋岸に至る大陸国家となるのである。また、(ニ)年にはロシアから〔え〕を720万ドルで購入している。

こうした急速な領土拡張は、アメリカ人の開拓と定住が実際にこの通りに進んだことを示すわけではない。アメリカ史では東部の開発地と西部の未開発地の境界は〔お〕と呼ばれた。これはけっして無主の地だったのではなく、2) 先住民インディアンの生活圏であったから、彼らの土地・文化・生命を剥奪し、白人の入植が進展してはじめて、名実ともにアメリカ領となったのである。同時に領土拡張は、黒人奴隷制の拡大をめぐる問題をたえず生み出した。新設州への奴隷制拡大をめぐる国内対立は、1820年の〔か〕協定で一応の解決をみていた。しかし、この対立は1850年のカリフォルニア州の連邦加盟をめぐって再燃し、1861年に3) 南北戦争が勃発することになる。

南北戦争がインディアンからの土地の奪取を引き起こし、その一方で黒人の真の解放をもたらさなかったことは、「自由の帝国」が誰の、誰による、誰のための帝国であったかを物語っている。南北戦争は北部工業地帯による国民国家の統一を意味し、南部・西部は北部工業製品の市場として従属的位置におかれることになった。〔き〕大統領のもとで生じた(ホ)年の米西戦争を契機に、アメリカは海外への領土拡張を本格的に始めるのである。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)にあてはまる適当な数字を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選べ。

(イ) a. 1801            b. 1802            c. 1803            d. 1804

(ロ) a. 1815            b. 1819            c. 1823            d. 1827

(ハ) a. 1840            b. 1842            c. 1844            d. 1846

(ニ) a. 1861            b. 1864            c. 1867            d. 1870

(ホ) a. 1892            b. 1894            c. 1896            d. 1898



B. 文中の空所〔あ〕～〔き〕それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～3) にそれぞれ対応する次の問 1～3 に答えよ。

1. この戦争で国土の半分を失ったメキシコは、内戦状態に陥った。混乱に乗じてイギリス・スペインとともにメキシコに出兵したフランス皇帝の名をしるせ。

2.

i. 東部インディアンをミシシッピ川以西に排斥した大統領の支持派を起源とする政党の名をしるせ。

ii. 19 世紀末にアメリカ南西部で激しい抵抗を試みたアパッチ族の首長の名をしるせ。

3. この戦争中にリンカン大統領が奴隷解放宣言を発した意図を、60 字程度でしるせ。

(2000 年 立教大文【2】: 改題)

---

### <解答>

A イー c    ロー b    ハー d    ニー c    ホー d

B あージェファソン    いーテキサス    うーオレゴン    えーアラスカ

おーフロンティア    かーミズーリ    きーマッキンリー

C 1 ナポレオン 3 世

2 i 民主党    ii ジェロニモ

3 自由貿易論をとるイギリスとフランスによる南部への支援を牽制して国際的世論を獲得するとともに、奴隷の決起を期待した。(57 字)

## 基本問題 13

次の文を読み、設問に答えなさい。

アメリカ合衆国の領土拡大は、主に(あ)外交による買収と軍事的征服を通して行われた。こうした領土拡大をさらに促した要因としては、1849年に始まる( a )と1869年に開通した( b )があげられる。( a )は、太平洋側にすでに居住していたメキシコ人に加えて、東部から移住者を引き寄せるとともに、これまでとは異質な移民をも引き寄せた。なかでも( b )の建設に貢献した( c )人は、1882年の立法で移民制限を課されるほどに急増した。( b )は、東部と太平洋側を結び、アメリカ国内の政治的・経済的統一を促す一要因となった。急速に発展するこれら2つの地域に挟まれた( d )川以西の大草原では、1862年の( e )法により土地を与えられるようになった農民の入植が進められた。

また、( f )年に勃発した南北戦争は、工業化を進めていた北部の勝利に終わった。それまで経済的に( g )の綿工業に大きく依存してきた南部地域は、北部経済圏への原料供給地となった。南北戦争以後は、石炭・石油・鉄鋼などを基本とする重工業化が北部を中心に著しく進展し、アメリカは19世紀末には世界一の工業国になった。この過程で産業独占が進み、1890年にはこれを規制するための( h )法が制定された。この時期にアメリカ国内のフロンティアは消滅するが、(い)対外政策において大きな変化がみられた。

問1 空欄( a )～( h )に最も適当と思われる語を入れなさい。

問2 下線部(あ)について、

- (1) 1803年にフランスから、1819年にスペインから、1867年にロシアから買収した地方の名をそれぞれ記しなさい。
- (2) アメリカの奴隷所有プランターによって入植が始まり、1845年にアメリカに併合され、アメリカ＝メキシコ戦争の原因にもなった州の名を答えなさい。
- (3) このアメリカ＝メキシコ戦争の結果、アメリカが獲得した地方にその後成立した州の名を1つあげなさい。

問3 下線部(い)について、

- (1) この変化を示す1898年の出来事を答えなさい。
- (2) この出来事は、2つの地域での独立運動と関わりを持っていた。その2つの地域の名を答えなさい。

(2003年 津田塾大学芸【4】)

**<解答>**

問1

a ゴールド=ラッシュ    b 大陸横断鉄道    c 中国    d ミシシッピ  
e ホームステッド    f 1861年    g イギリス    h シャーマン反トラスト

問2

(1) [フランスから] ルイジアナ [スペインから] フロリダ [ロシアから] アラスカ  
(2) テキサス    (3) カリフォルニア [ニューメキシコ]

問3

(1) 米西 [アメリカ=スペイン] 戦争    (2) キューバ・フィリピン

## 基本問題 14

次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。

アメリカ合衆国では1800年の大統領選挙の結果、1) ジェファソンが大統領に就任した。彼はフランスからミシシッピ川以西の(イ)を購入し、アメリカの領土をほぼ倍増することに成功した。当時ヨーロッパで起きていた戦争は中立国アメリカに貿易上の利益をもたらしたが、やがてアメリカは通商妨害をおこなうイギリスとの間で戦端を開いた。アメリカはこの戦争に勝利を取ることができないまま、2) 講和を余儀なくされたが、国民意識は強まり、経済的自立が促進された。

米英戦争後のアメリカは高揚した国民感情を背景に、スペインから(ロ)を買収し、次いでヨーロッパ大陸諸国がラテンアメリカ諸国の独立に対して干渉する構えを見せた時、その動きに警告を発する大統領声明を発表した。イギリス外相<あ>もラテンアメリカ諸国の独立を支持した。

アメリカでは第7代大統領<い>の時代に、白人男子の普通選挙権が確立し、民主主義が進展した。しかしその一方で<い>はミシシッピ川以東の先住民インディアンの強制移住を推進し、抵抗する場合には容赦なく武力で追放した。アメリカは1840年代に(ハ)、オレゴンを併合し、メキシコと戦ってカリフォルニアを得た。この頃、北米大陸での領土拡大は神によってアメリカ人に与えられた当然の使命であると説く理念「(ニ)」が流布した。

アメリカの領土拡大にともなって顕在化してきたのが、3) 奴隷制度をめぐる南北対立であった。奴隷制を禁ずる北部の自由州と南部の奴隷州はミズーリ協定で妥協をはかったものの、1854年のカンザス・ネブラスカ法成立を通じ、対立は次第に先鋭化していった。工業州を多く抱える北部が保護貿易と強い連邦政府を認めたのに対して、綿花や煙草など農産物の対外輸出に依存する南部が自由貿易と州権主義を支持したことも、対立を深刻なものにした。

1860年、奴隷制の拡大に反対する<う>党のリンカンが大統領に当選した。南部諸州は合衆国からの脱退に踏み切り、ここに南北戦争が始まった。戦局は当初南部に有利であったが、人口と経済力で南部を上回る北部がやがて優勢にたち、1865年春までに北部が勝利を取めた。リンカンは戦時中優れた指導力を発揮し、経済発展のために一連の政策を実施に移すとともに、奴隷解放宣言の公布により北部の立場に道義的正統性を与えた。合衆国政府はまた、4) メキシコに軍事介入したヨーロッパ列強に抗議をおこなった。

南北戦争の終結後、奴隷制度は連邦憲法の修正で正式に廃止され、黒人の参政権も保障された。しかし実際には多くの黒人は(ホ)として依然として土地に縛り付けられ、厳しい法的・社会的差別下におかれた。アメリカが5) 黒人差別の問題に真剣に取り組むのは、その後100年を待たなければならなかった。なお6) 女性の参政権獲得をめざす運動が本格的に始まるの

は、19世紀半ばのことであった。

南北戦争後のアメリカは国内の再建に迫られ、対外的には不活発であった。わずかに7) ロシアからアラスカを買収し、イギリス、ドイツと南太平洋のサモア諸島を争った程度であった。

やがてアメリカは未曾有の経済発展を遂げ、19世紀末までにイギリスを追い抜き、世界最大の工業国に躍り出た。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選べ。

<あ>

a. ウェリントン    b. カニング    c. グレイ    d. ピット

<い>

a. グラント    b. ジャクソン    c. ハミルトン    d. モンロー

<う>

a. 共和    b. ホイッグ    c. 民主    d. 連邦

C. 文中の下線部1)～7)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。

1. ジェファソンの業績として正しくないものを、次のa～dから1つ選べ。

- a. アメリカ産業の基礎を農業に置いた
- b. 初代の国務長官としてワシントン大統領を助けた
- c. 独立宣言の主要起草者であった
- d. 連邦政府の強い権限を主張した

2. アメリカがイギリスと講和を結んだ年のヨーロッパの国際情勢を説明したものとして正しいものを、次のa～dから1つ選べ。

- a. イギリスとフランスがアミアンの和約を結んだ
- b. ナポレオンがロシア遠征をおこない、大失敗に終わった
- c. ナポレオン後のヨーロッパの国際秩序を討議するために、ウィーン会議が開催された
- d. ネルソン提督がトラファルガーの海戦でフランス・スペイン艦隊を打ち破った

3. アメリカでは解放奴隷を海外に入植させる計画があり、実際に彼らをアフリカに送り、19世紀半ばに共和国を建設させた。その国名をしるせ。

4. ヨーロッパ列強の軍事介入に抵抗し、これを撤退に追い込んだ時のメキシコの大統領の名をしるせ.
5. 後に公民権運動の優れた指導者として、1963年8月の「ワシントン大行進」を率いた黒人牧師の名をしるせ.
6. 世界で初めて国政レベルで女性参政権を認めた国を次の a～d から 1つ選べ.  
a. オーストラリア    b. ニュージーランド    c. ノルウェー    d. フィンランド
7. 当時のロシア皇帝の名をしるせ.

(2007年 立教大経済・観光【2】:改題)

---

**<解答>**

A.

イ. ルイジアナ    ロ. フロリダ    ハ. テキサス

ニ. 明白な天命〔マニフェスト・ディステイニー〕

ホ. シェアクロッパー〔分益小作人〕

B. あーb    いーb    うーa

C. 1ーd    2ーc    3. リベリア    4. ファレス    5. キング    6ーb

7. アレクサンドル2世

## 基本問題 15

アメリカ合衆国の対外政策に関する次の文章を読み、問いに答えよ。

第5代大統領モンローによる（ A ）年のモンロー宣言（教書）提出に代表されるように、アメリカ合衆国は独立後、はやい時期から国境の外側に視線を向けてきた。1898年2月、（ B ）のハバナ港でアメリカ戦艦メイン号が撃沈される事件が起こると、この機に乗じて共和党の（ C ）大統領は（ B ）の宗主国であったスペインに対して同年4月に宣戦布告した。しかし、わずか4か月でアメリカ合衆国の圧倒的勝利に終わったこの戦争は、スペインの圧政から（ B ）を解放するという表向きの大義とは裏腹に、極めて拡張主義的なアメリカ合衆国の対外戦略の一部をなしていた。開戦直後、当時香港にあったアメリカ艦隊はフィリピン群島に向かい、スペイン艦隊を破ってマニラを占領した。同時に、フィリピンへの海上輸送路の確保という名目で太平洋上の独立国であった（ D ）を併合した。それ以外にも、（ B ）が事実上アメリカ合衆国の保護国とされたほか、パリ講和会議により、スペイン領であったグアム島とカリブ海に浮かぶ（ E ）のアメリカ合衆国への割譲と、2000万ドルでのアメリカ合衆国によるフィリピン買収が決められた。

西方、つまり（ D ）からグアム島、フィリピンへ連なる「太平洋の橋」の彼方にアメリカ合衆国が見据えていたのが、無限の潜在力を持った中国市場であった。1899年および1900年、国務長官（ F ）が発した門戸開放宣言はその具体的なあらわれである。

また、南方へのアメリカ合衆国の強い関与は、（ C ）大統領暗殺のあと副大統領から大統領に昇格したセオドア＝ローズヴェルト（ルーズヴェルト）による、海兵隊の力を後ろ盾とした中南米およびカリブ海地域に対する「棍棒外交」のなかに見ることができる。(1) アメリカ合衆国によるパナマの分離独立運動に対する支援とパナマ運河の永久租借権の獲得はそうした外交手法の典型である。 なお、同運河は1904年に着工され、1914年に完成した。

問1 空欄AからFに適切な数字ないし語句を埋めよ。

問2 下線部(1)について、パナマ共和国が独立以前に属していた国名を答えよ。

(2002年 北海道大【3】:改題)

**<解答>**

問1

A 1823    B キューバ    C マッキンリー    D ハワイ    E プエルトリコ

F ジョン=ヘイ

問2 コロンビア共和国



## 基本問題 16

### 【1】

(1) 保守的なウィーン体制下、イタリアでは自由と統一を求める政治的秘密結社がつくられ、数次にわたり武装蜂起と革命を試みたが、1830年代には衰退した。この秘密結社の名称を記しなさい。

(2) ウィーン体制下のロシアでは、青年貴族将校たちが農奴制廃止や立憲制樹立をめざして複数の秘密結社を組織し、皇帝アレクサンドル1世が急死した機会をとらえて反乱を起こしたが、鎮圧された。この反乱の名称を記しなさい。

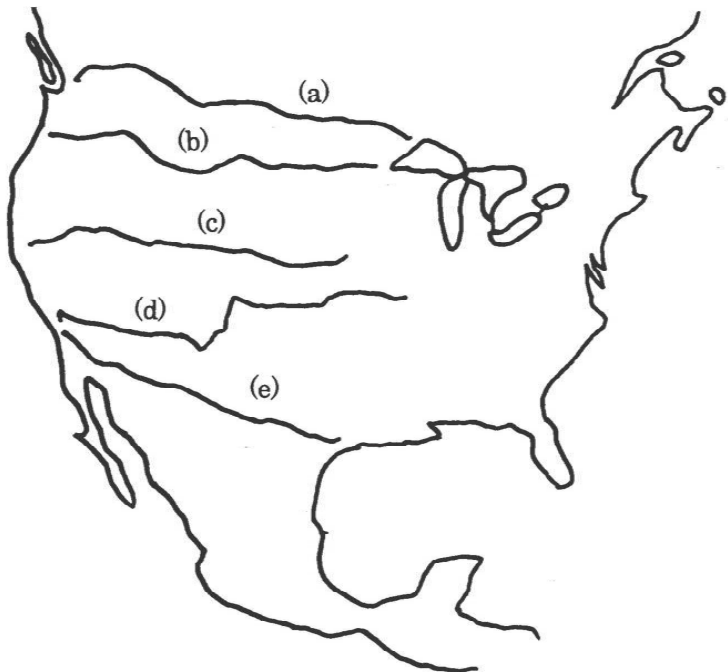
(東大【3】(3)(4)・2009年)

【2】 アメリカ合衆国における大陸横断鉄道の建設は、移民を労働者として利用しながら進められた。それは西部開拓を促しただけでなく、合衆国の政治的・経済的な統一をもたらすことになった。この鉄道建設が遅れる要因となった出来事の名称を記しなさい。

(東大【3】(7)・2008年)

【3】 1869年に開通した大陸横断鉄道を正しく示しているのは、図の(a)～(e)のどれか。1つを選び、その記号を記せ。

(東大【3】(6)・2003年)



【4】 アメリカ合衆国では、南北戦争の結果、黒人奴隷制が廃止されると、南部諸州を中心に白人優越主義を掲げる秘密結社が組織され、黒人に暴力的な迫害を加えた。この秘密結社の名称を記しなさい。

(東大【3】(5)・2009年)

【5】

(1) 後発地域における国家建設には、経済基盤の準備が重要な意味をもった。1834年、ドイツ連邦内の諸国がドイツ関税同盟を発足させたことは、後のドイツ統一の基礎となった。

(a) 関税同盟を早くから提唱し、一時アメリカ合衆国に亡命しながら、著作を通じて関税同盟の設立や保護関税の導入を働きかけたドイツの経済学者は誰か。その名を記せ。

(b) 当時のドイツ連邦構成国であったある有力国家は、この関税同盟には加わらなかった。その国名を記せ。

(2) 近代の人口増や工業化による大きな社会変動は、ヨーロッパから大量の移民をアメリカ合衆国に送り出した。

(a) 19世紀の合衆国への主要な移民送り出し地域は、北・西ヨーロッパであった。この地域で、19世紀後半、合衆国への移民を、イギリス（アイルランド含む）について最も多く出した国はどこか。その国名を記せ。

(b) 19世紀末からは、東・南ヨーロッパ地域からの移民が多くなった。19世紀末から1920年にかけて、この地域の国で合衆国への移民を最も多く出した国はどこか。その国名を記せ。

(東大【3】(2)(4)・1999年)

【6】 次の短文の正誤を判定し、誤りがあると思う文章については、その理由を(1)(2)は70字以内、(3)は60字以内でその理由のみを記せ。

(1) 19世紀の統一以前のイタリアでは、ローマを含む中部イタリアに教皇領が広がっていたが、この教皇領は、8世紀末に東ローマ帝国がイスラム勢力を討って、その占領地を教皇にささげたことに始まる。

(2) 12世紀に、ノルマン人がイタリア半島南部とシチリア（シシリー）島を合わせて単一国家をうちたてた。その後、19世紀のイタリア統合の時期まで、南イタリアとシチリア島は政治的にあるいは統合され、あるいはそれぞれ別個の王国をなしたが、つぎつぎと交替する外部勢力の支配のもとに引き続きおかれていた。

(3) 19世紀に入って、カルボナリ党や青年イタリア党がイタリア統一運動を展開したが、オーストリア、フランスに鎮圧された。その後、サルディニア王国は、当時の国際関係に巧みに乗じて、イタリア半島の政治的統一をほぼ達成したが、なお国境外の「回復されざるイタリア」の問題が残った。

(東大【1】(6)(7)(9)・1977年)

【7】 次の文章を読み、空欄に適合する文章を選び、符号で答えよ。

1853年にロシアとトルコとの間で起こったクリミア戦争では、イギリスとフランスがトルコ側に参戦した。それは産業革命を終えた先進資本主義国とおくれた農奴制の国ロシアとの戦いとなった。1年近い籠城戦ののち、1855年セヴァストポリ要塞は陥落し、ロシアの敗北がきまった。( )

イ この戦争に従軍したトルストイは、その体験にもとづき、この戦争を素材にして長編小説『戦争と平和』を書き上げた。

ロ 敗北したロシアでは、国の近代化の必要を主張する声が高まり、新帝アレクサンドル2世のもとで農奴解放をはじめとする大改革が漸行された。

ハ ロシアでは、戦後の不安の中で、ツァーリズムに対する批判が強まり、皇帝はナロードニキにより暗殺された。新帝アレクサンドル3世のもとで農奴解放が漸行された。

ニ 勝ったトルコでも、改革の気運が起こり、オスマン体制より西欧体制への移行をめざしたタンジマートが宣言された。

(東大【3】B・1981年)

【8】 19世紀末のフランスでは反ユダヤ主義や排外主義の風潮が高まり、ユダヤ系のドレフェス大尉がドイツのスパイ容疑で終身刑を宣告された。これに対して彼の無実を主張した自然主義作家の名前を記しなさい。

(東大【3】(8)・2013年)

【9】 ロンドンの地下鉄は1863年に開通したが、蒸気機関を使っていたためにその経路は地表すれすれの浅い路線に限られていた。1890年に画期的な新技術が採用され、テムズ川の川底を横切る新路線が開通した。ひきつづき同じ技術を用いてパリに1900年、ベルリンに1902年、ニューヨークに1904年にそれぞれ地下鉄が設けられた。その画期的な新技術とは何か。その名称を記せ。

(東大【3】(10)・2003年)

---

**<解答>**

【1】 (1) カルボナリ (2) デカブリストの乱

【2】 南北戦争

【3】 (c)

【4】 K・K・K (クー=クラックス=クラン)

【5】 (1)(a) リスト (b) オーストリア (2)(a) ドイツ (b) イタリア

【6】

(1) フランク国王ピピンがランゴバルド王国を攻撃し、獲得したラヴェンナなどを教皇に寄進したのがローマ教皇領の始まりである。(58字)

(2) 正 (3) 正

【7】 ロ

【8】 ゴラ

【9】 電車

## 例題



【1】 16世紀から17世紀にかけて、南北アメリカ大陸には、スペイン、ポルトガル、オランダ、フランス、イギリスがそれぞれ植民地を建設したが、18世紀後半以降、これらの諸国とアメリカ大陸の植民地との関係は大きく変化しはじめる。18世紀後半から19世紀前半にかけて、北米のイギリス領13植民地と南米のスペイン植民地で生じた変化、および、その結果成立した支配体制の特徴について、300字以内で説明せよ。

(京大【3】・2012年)

【2】 欧米において近代市民社会が形成されるにあたり、17世紀から19世紀初頭にかけて、さまざまな変革が生じたが、それらの変革の様相は地域によってそれぞれ異なっていた。そこで、イギリス、アメリカ、フランス、プロイセン（プロシア）の四つについて、以下の(A)・(B)の設問に、それぞれ300字以内で答えよ。

〔設問〕

(A) イギリス革命（ピューリタン革命および名誉革命）とフランス革命に関し、革命を引き起こした原因と、革命がめざした目標とについて両革命を比較し、それぞれの革命の特色を述べよ。さらに、19世紀初頭のプロイセンの改革の特色と思われる点を指摘せよ。

(B) アメリカ独立革命に関し、ヨーロッパにおける諸変革との比較を念頭において、アメリカの場合の特色と思われる点を述べよ。

(注) 解答において、イギリス、アメリカ、フランス、プロイセンを、それぞれ、英、米、仏、普、と表記してよい。

(東大【1】・1988年)

【3】 独立を目指すギリシア人の蜂起は、オスマン帝国軍によって抑圧された。しかし、最終的にはオスマン帝国も、1829年のアドリアノーブル条約によって、ギリシアの独立を認めるに至った。その背景には、ヨーロッパ列強の力が強く作用していた。ギリシア独立をめぐるこの国際情勢について、120字以内で述べよ。

(東大【3】(F)・1985年)

【4】 1830年前後におけるヨーロッパ諸国の情勢を350字以内で説明せよ。

(東大【1】・1967年)

【5】 1848年の各地の革命をへて19世紀後半に入ったヨーロッパでは、社会・政治の分野で変化が生じた。その重要な諸点について述べよ。(240字以内)

(東大【2】(B)・1983年)

【6】

(1) 19世紀のドイツの統一については、小ドイツ主義、大ドイツ主義という二つの主張があった。このうち、小ドイツ主義について、簡単に説明しなさい。

(2) ウィーン体制成立後の三十数年間に見られた、ドイツの政治的・経済的統一への動きについて述べなさい。その際、小ドイツ主義は小と、大ドイツ主義は大という記号で記すものとします。(200字以内)

(3) 第一次世界大戦後、「大ドイツ主義の理念を達成した」と主張された事例がある。それは何年のどのような事態ですか。

(津田塾大学芸学部【1】・1994年)

【7】 19世紀のドイツ統一においてオーストリアはどのようにして排除されたか。三月革命の動向に留意しながら、150字以内で述べよ。

(東京学芸大・1991年)

【8】 19世紀におけるドイツ統一に関して、以下の3点についてまとめよ。(500字程度)

1. 統一が遅れた政治的および社会経済的理由
2. 1834年以降の統一の過程
3. 統一後の国家形態の特色

(京都府立大・1982年)

【9】 ドイツにおける国民国家の形成について、以下の語句をすべて使用して400字以内で述べよ。また、使用した語句には下線を引くこと。

社会政策    ナポレオン    ドイツ関税同盟    1848年  
普仏戦争(またはプロイセン・フランス戦争)

(首都大【3】・1999年)

【10】 伝統的な社会秩序が崩れつつあったヨーロッパの諸地域では、19世紀に入ると、下から、新しい社会を目指す様々な集団の運動がおこってきた。その場合、運動の軸になる人々の結びつきの場をどこに求めるかが、重要であった。1830年代に、イギリスでは<sup>①</sup>労働運動を中心にした大衆運動が起こって、改革をめざし、イタリアでも、新しい世代に期待して、<sup>②</sup>統一国家をめざす運動が登場し、ポーランド人やアイルランド人にも影響を与えた。19世紀後半には、ロシアで、<sup>③</sup>農民に期待する運動があった。

〔設問〕

- (1) この運動の主な要求を1行(30字)で記せ。
- (2) この運動の名称と、それを提唱し、指導した人物の名を記せ。
- (3) ヨーロッパではこの頃、革命の主体は労働者と考えられていた。それに対し、この運動が農民に期待したのはなぜか。1行(30字)で説明せよ。

(東大【3】(C)・1990年)

【11】 世界史における農村社会の変動について、下記の設問に答えよ。

ロシアでは、近代になっても土地問題や農民問題が重要な課題でありつづけた。1860年代はじめから1910年代末までにこの国でとられた代表的な農村社会変革の政策について、150字以内で記せ。

(東大【2】(B)・1994年)

【12】 1898年に勃発したアメリカスペイン戦争をきっかけとして、アメリカ合衆国は、モンロー宣言によって定式化された従来の対外政策を脱し、より積極的な対外政策を追求しはじめた。とりわけこの戦争の舞台となったカリブ海や西太平洋、そして中国においては、戦後、アメリカ合衆国の影響力が飛躍的に高まり、帝国主義列強間の力関係にも大きな変化がもたらされた。下線部に関する問いに答えなさい。

問 この宣言の内容を、2行(60字)以内で説明しなさい。

(東大【2】問3(a)・2011年)

【13】 アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国は、ともにヨーロッパ諸国の植民地として出発した。しかし、独立後は、イギリスの産業革命などの影響の下で対照的な道を歩むことになった。たとえば、アメリカ合衆国の場合には、急速な工業化を実現していったのに対して、ラテンアメリカ諸国の場合には、長く原材料の輸出国の地位にとどまってきた。そしてラテンアメリカ諸国は、政治的にも経済的にもアメリカ合衆国の強い影響下におかれることになったが、その特徴は、現在のラテンアメリカ諸国のあり方にも大きな影響を及ぼしている。

そこで、18世紀から19世紀末までのアメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の歴史について、その対照的な性格に留意しつつ、ヨーロッパ諸国との関係や合衆国とラテンアメリカ諸国の相互関係のあり方の変化を中心に、下に示した語句を一度は用いて、15行（450字）以内で記せ。なお、使用した語句に必ず下線を付せ。

プランテーション、      パン＝アメリカ会議、      南北戦争、      ウィーン体制、  
自由貿易主義、      モンロー主義、      クリオーリオ、      米英戦争

（東大【1】・1998年）

【14】 19世紀にイギリスが自由貿易を世界に拡大しようとしたのに対し、後発資本主義のドイツ、アメリカは強く抵抗した。その状況を、以下の語句を用いて説明しなさい。（400字以内）

穀物法撤廃      南北戦争      ドイツ関税同盟      リカード      リスト

（筑波大【3】・2007年）

【15】 16世紀後半から19世紀末までのロシアの東方進出について、以下の語句を用いて述べなさい。（400字）

アラスカ      イリ条約      コーカンド＝ハン国      ネルチンスク条約      ムラヴィヨフ

（筑波大【3】・2003年）

---



# 体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。

Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

## 《体験授業後の流れ》

### お申し込み方法

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。  
※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。  
※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。  
※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。  
※本科授業は、「クラス授業」「映像授業」が選べます。  
※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。予めご了承ください。

通話料  
無料

**0120-2828-76**

月曜日～土曜日 12:00～20:00  
(休室日を除く)

各教室電話番号

御茶ノ水教室	03-5296-2828	池袋教室	03-5985-2828
渋谷教室	03-5774-2828	横浜教室	045-313-2828
新宿教室	03-5304-2828	葛西教室	03-5878-0844

月曜日～土曜日  
14:00～21:00  
(休室日を除く)

### お申し込み後の流れ

お申し込みから1週間以内に手続書類(入会書類、お支払いについて、会員証など)をお送りします。

※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加が可能です。  
※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

お申し込み後、テキストを各教室窓口にてお受け取りください。

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

## 講座選択に迷ったら…

学習相談は随時承っています。お電話でのご相談も可能です。

受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

## Z会の教室の受講サポート — 万全のシステムで効果的な学習をサポートします —

### 1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

### 2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。他教室への振替、映像授業(教室・自宅での受講)への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。

※振替手続は一週前の月曜から可能です。

### 3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随時承っています。

### 4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。